
2520. 積付結果登録 (MAWB単位)

業務コード	業務名
ULM	積付結果登録 (MAWB単位) 呼出し
ULM01	積付結果登録 (MAWB単位)

1. 業務概要

MAWB番号に対するHAWBを呼び出し、ULD番号とHAWB番号の関連付けを登録する。

(1) 「積付結果登録 (MAWB単位) 呼出し (ULM)」業務の場合

MAWB番号を入力することにより、搭載便及び輸出貨物情報 (HAWB番号、積付可能個数、積付重量等) の呼出しを行う。

(2) 「積付結果登録 (MAWB単位) (ULMO1)」業務の場合

貨物をULDに積み付けた場合に、ULD番号とMAWB番号及びHAWB番号とを関連付けるULD積付情報の登録を行う。

なお、本業務を行うことにより、輸出貨物情報はULD単位に扱うことができる。

2. 入力者

航空会社、通関業、混載業、保税蔵置場

3. 制限事項

- ① 1業務で入力可能なULD件数は最大3件とする。
- ② 1業務で入力可能なHAWB件数は最大12件とする。
- ③ 1ULDに積付情報を登録できるMAWB件数は最大50件とする。
- ④ 1ULDに積付情報を登録できるHAWB件数は最大9999件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

① システムに登録されている利用者であること。

~~② 積付結果登録業務可能な旨があらかじめシステムに登録されている利用者であること。
(他所蔵置場所の場合は、他所蔵置許可申請の申請者を含む。)~~

② 他所蔵置場所での積付の場合は、他所蔵置許可申請の申請者であること。

③ システム不参加展示場での積付の場合は、展示等積戻し申告の申告者であること。

④ 自社施設での積付の場合は、特定輸出申告の申告者であること。

⑤ 特定委託輸出申告におけるバスケット保税地域での積付の場合は、特定委託輸出申告の申告者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) ULD情報DBチェック

入力されたULD番号がULD情報DBに存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ① ULDが入力された保税蔵置場に蔵置中であること。
- ② ULD情報DBに積込港が登録されている場合は、入力された積込港と同一であること。
- ③ 入力者が航空会社の場合は、入力者の管理する保税蔵置場に蔵置中であること。
- ④ 入力者が航空会社以外の場合は、入力者がULD積付けを行っているか、入力者の管理する保税蔵置場に蔵置されていること。
- ⑤ ULDに積み付けるHAWBと同一のHAWBが積み付けられていないこと。

(4) 輸出貨物情報DBチェック

(A) 入力されたMAWB番号に対して、以下のチェックを行う。

- ① MAWB番号が輸出貨物情報DBに存在すること。

- ②MAWBであること。
- ③混載仕立てされていること。
- ④混載業が登録されていること。
- (B) 入力されたHAWB番号に対して、以下のチェックを行う。
 - ①HAWB番号が輸出貨物情報DBに存在すること。
 - ②HAWBであること。
 - ③入力された保税蔵置場に積み付け可能な個数が蔵置されていること。
 - ④入力者が取り扱えるHAWBであること。
 - ⑤手作業移行済貨物でないこと。
 - ⑥貨物差止め登録がされていないこと。
 - ⑦貨物取扱中でないこと。
 - ⑧搬入情報訂正承認保留中の貨物でないこと。
 - ⑨ULD積付個数A、ULD積付個数B、ULD積付個数Cに入力された積付個数の合計が積み付け可能な蔵置個数より少ないこと。
 - ⑩入力されたULD番号にすでに積み付けられているHAWBでないこと。
 - ⑪貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
 - ⑫輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請事項登録中または輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請中でないこと。

5. 処理内容

(1) ULM業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) HAWB情報の抽出処理

入力されたMAWB番号等により、輸出貨物情報DBより次の条件を満たすHAWB情報を抽出する。

- ①入力されたMAWB番号に混載仕立てされている貨物であること。
- ②入力された保税蔵置場に貨物が蔵置中であること。
- ③混載業が入力されている場合は、入力された混載業が取扱った貨物であること。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。
- ②抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) ULMO1業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) ULD情報DB処理

- ①入力されたULD番号がULD情報DBに存在しない場合は、ULD情報DBを新規に作成する。
また、ULD積付情報を登録する。
- ②入力されたULD番号がULD情報DBに存在する場合は、ULD積付情報を登録する。

(C) 輸出貨物情報DB処理

処理識別がスペース（積付対象）である場合は、ULD積付情報を登録する。

なお、ULD積付個数A、ULD積付個数B、ULD積付個数Cに入力された個数の合計が輸出貨物情報DBに登録した総個数と等しいときは、当該貨物がULDに全量積み付けされた旨も登録する。

(D) HAWB情報抽出処理

入力された抽出条件に対するHAWB情報が輸出貨物情報DBに残存する場合は、前述のHAWB情報抽出処理を再度行う。

(E) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(F) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①抽出条件に対する対象データが残存する場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。
- ②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) ULM業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積付結果登録（MAWB単位）呼出し結果情報	なし	入力者

(2) ULMO1業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積付結果登録（MAWB単位）呼出し結果情報	以下の条件をすべて満たす場合に出力する (1) HAWB情報の抽出処理が行われた後に、 処理対象データが残存している (2) 処理識別に「E」（登録終了）の旨が入力されていない	入力者
積付ULD情報	以下の条件をすべて満たす場合に出力する (1) ULD番号に対し新規に積付結果登録がされた場合、またはシステムに登録されているULD情報と入力されたULD情報に差異がある (2) 航空会社または保税蔵置場の場合で、積付ULD情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者

情報名	出力条件	出力先
積付結果登録情報	以下の条件をすべて満たす場合に出力する (1) 積み付けられている貨物がすべて許可済である (2) 積付結果登録情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者
積付結果保留情報	以下の条件をすべて満たす場合に出力する (1) 入力された貨物に未許可貨物がある (2) 積付結果保留情報を出力する旨が、システムに登録されている	入力者

7. 特記事項

本業務を複数回に分けて実施する場合、本業務が全て終了しているか否かはシステムで判断はできない。そのため、ULDに対する搭載完了もしくは搬出確認が行われた時点でシステムはULD積付作業が終了しているものと自動的に判断する。